

お母さんは→言います
述語へのかかり読み

6584 ©Addeamland

1)文ふうせんをそのまま読ませる。「ぼくが—ようちえんから—かえってくると—いいます」「おかあさんは—いいます」「いつも—いいます」がいいぼつたねと—いいます」
2)これを、ひとつずつ文で(述語をまとめて)書く。

a)複文のかかり読み。複文は発達課題。
b)分詠した述語をひとつに集約する作業を通して、言葉のつながりを感じ取る体験。述語から主語へ。

文の中の語の「かかり」の意識体験。後の「文の大丸や「文サポート」」につながる。

特定用具:不要
Date: □

わくわく うれしく せんせい かわいい カー。

